# 27［小説］『子供の領分』

　「それじゃ、メンコをしようか」「地面がれているから、ダメだよ」「①困ったな。おすもうの写真が、いつまでａ経っても借りっぱなしになってしまうな」ＢはＡをメンコのｂユウギで負かして、その借りを消そうと考えているらしい。「あれはもういいよ」むしろＡは機嫌よく答えた。二人の少年の上機嫌は、依然として続いていた。そのとき、短い叫び声が、ＡとＢの口から同時に出た。

　雪が消え、白く乾いたセメントのｃ石畳がのぞいている歩道の隅に、のが落ちていたのだ。どうしてそんな場所にいるのか分らぬが、死体ではない。かに羽根を動かしているのが見える。

　Ａは背をかがめ、その雀の仔に手をのばした。なまあたたかい体温が指先に触れた瞬間、Ａの体はしく突きとばされた。

　二、三歩、前にのめって踏みとどまったＡが振り向くと、②両手のをしゃくい上げたＢが脚を踏ん張って立っていた。

　「その雀、ぼくにれよ」Ａは、それが当然の口調で言った。言い終わった瞬間、いま自分の背に加えられたＢの力の荒々しさをｄアザやかにおもい浮かべた。

　「だ」［　　Ⅰ　　］は雀の仔を載せた二つの掌を胸もとに引きよせて、きっぱりと言った。「なんだ、ぼくが先に見付けたんだぞ」「ちがう、ぼくが先だ」「こっちへ呉れよ」「厭だ」

　Ｂのは、赤く染まっていた。その赤さは、さっきの屋根の上でのものとは、違った赤さである。Ｂの胸もとに伸ばした［　　Ⅱ　　］の手は、［　　Ⅲ　　］の片手で烈しく振り払われた。ＢはＡに背中を向けると、黙って坂の上に向かって歩き出した。Ａを拒否している厳しい線が、その(　　③　　)にわになっていた。

　胸の前に、Ｂは大事に雀の仔をｅ捧げもって歩いてゆく。

　取り残されたＡは、坂道の途中で棒立ちになっていた。Ｂに烈しく振り払われた手の甲は、赤くれていた。口惜しさが、Ａの心の中で疼いた。④と同時に、その赤くれた肉は、Ｂに対して償いをした跡のように、Ａの眼に映ってきた。

問１　二重傍線部ａ〜ｅの漢字は読みを記し、カタカナは漢字に直せ。2点×5

ａ〔　　　　　〕　ｂ〔　　　　　〕　ｃ〔　　　　　〕　ｄ〔　　　　　〕　ｅ〔　　　　　〕

問２　傍線部①はどういう意味を含んでいるか。最も適当なものを次から選べ。6点

ア　写真を借りているＢが、メンコでＡを負かして、一時的な借用でなく永続的に借りるかたちにしようとした。

イ　写真を借りているＢが、メンコでＡを負かして、借りているかたちから正式に自分の持ち物にしようとした。

ウ　写真を借りているＢが、メンコでＡを負かして、その上でＡに写真を返してあげようと考えていた。

エ　写真を借りているＢが、メンコでＡを負かして、借りていた写真を第三者に預けようと考えていた。

オ　写真を借りているＢが、メンコでＡを負かして、逆にＡに貸しをつくってやろうと計画していた。

〔　　　〕

問３　傍線部②からどういうことが読み取れるか。最も適当なものを次から選べ。6点

ア　雀の仔をＡには絶対渡さないという大変強い姿勢

イ　雀の仔をＡには絶対殺されたくないという危機感

ウ　雀の仔をＡには絶対取られたくないという強い心配

エ　雀の仔をＡには絶対いじめられたくないという愛情

オ　雀の仔をＡには絶対見せないという意地悪な意思

〔　　　〕

問４　空欄Ⅰ〜Ⅲには「Ａ」か「Ｂ」のいずれかが入る。最も適当な組み合わせを次から選べ。6点

ア　Ⅰ＝Ａ　Ⅱ＝Ｂ　Ⅲ＝Ｂ

イ　Ⅰ＝Ｂ　Ⅱ＝Ａ　Ⅲ＝Ｂ

ウ　Ⅰ＝Ｂ　Ⅱ＝Ａ　Ⅲ＝Ａ

エ　Ⅰ＝Ａ　Ⅱ＝Ｂ　Ⅲ＝Ａ

オ　Ⅰ＝Ｂ　Ⅱ＝Ｂ　Ⅲ＝Ａ

〔　　　〕

問５　空欄③に入る語句を本文中から二字で抜き出せ。6点

〔　　　　　〕

問６　傍線部④とあるが、なぜＡの眼にそう映ってきたのか答えよ。10点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問７　この文章から読み取れることとして最も適当なものを次から選べ。6点

ア　ＡとＢは友だち同士だが、ＡがＢに対し圧倒的に優位な位置を占めていた。

イ　ＡとＢは友だち同士だが、ＢがＡに対し圧倒的に優位な位置を占めていた。

ウ　ＡとＢは友だち同士だが、どちらかが圧倒的に優位に立っているという関係ではない。

エ　ＡとＢは友だち同士だが、常に自分こそが優位に立とうと努力し続けてきた。

オ　ＡとＢは友だち同士だが、常に自分こそが優位に立とうと互いに強く憎み合ってきた。

〔　　　〕

【解答】

問１　ａた（って）　ｂ遊戯（技）　ｃいしだたみ　　ｄ鮮（やか）　ｅささ（げ）

問２　イ

問３　ア

問４　イ

問５　背中

問６　Ａは、Ｂを傷つけるなど今までＢに対して何か悪いことをしてしまったという後ろめたさをもっているから。

　　（傍線部の内容がなければ×）

問７　ウ

■覚えておきたい語句

□7　かがめる………………体を折り曲げたり、縮めたりする。

□17　露わ……………………はっきりと見えるさま。

□19　棒立ち…………………まっすぐつっ立ったままでいる。

□20　疼く……………………ずきずき痛む。

〔場面解説〕

小説には、必ず何か事件（出来事）が描かれる。どんな事件がどのように描かれているかをつかむことが、小説の読みの基本。事件の発端とクライマックスをおさえることで、その小説の事件をおおよそとらえることができる。

　　　　↓

ＡとＢは友達同士だが、落ちていた雀の子供をめぐって、急にトラブルが起こる。Ａが取ろうとした雀の子供を、ＢがＡを烈しく突きとばして取ってしまったのである。それをめぐって二人は口論になるが、ＢはＡを烈しく拒否し去ってしまう。

〈作者＆出典〉吉行淳之介（よしゆき・じゅんのすけ）一九二四年（大正13）～一九九四年（平成６）岡山県生まれ。小説家。「第三の新人」と呼ばれる作家の一人である。一九五四年『驟雨』で芥川賞を受賞する。本文は、『子供の領分』（集英社文庫、一九九三年）より。

【読みのセオリー】

★小説の問題も論理的に解く

　小説というと、「感覚で解く」と考える人がいるが、それは大きな間違い。小説の問題も、評論と同じように論理的に解くこと。だから、一つひとつの設問に対応する本文中の該当箇所を丁寧に探し、その上で検討していく。

　たとえば問７も、本文中に根拠さえ見つけられれば、簡単に答えることができる。会話部分が、その根拠である。

■読みのセオリー［実践］小説の問題も論理的に解く

問7　本文中から判断の根拠となる箇所を探し、Ａ・Ｂの関係を読み取ろう。

［本文中の根拠］

・「［１　　　　　］。おすもうの写真が、いつまで経っても借りっぱなしになってしまうな」

・口惜しさが、Ａの心の中で疼いた。と同時に、その赤く腫れた肉は、Ｂに対して

　［２　　　　　］のように、Ａの眼に映ってきた。

　　　　 　↓　つまり、

ＡはＢに対して―［３　　　　　］―という気持ちをもっている。

〔解答〕　１困ったな　２償いをした跡　３後ろめたい（悪い）

☆「セオラム補充問題」　問題は、次の３種類があります。

　　＊差し替え　　　……該当の問と差し替えるもの

　　＊追加　　　　　……同じ問で、追加された問題

　　＊新問　　　　　……追加可能な新たな問題

＊追加

問１　本文中の二重傍線部１〜６の漢字の読みを記せ。

１　地面が濡れているから、

２　微かに羽根を動かしているのが見える。

３　両手の掌をしゃくい上げた

４　露わになっていた。

５　Ａの心の中で疼いた

６　償いをした跡のように、

　［答］　１ぬ（れて）　２かす（か）　３てのひら　４あら（わ）　５うず（いた）　６つぐな（い）

＊差し替え

問３　傍線部②からどういうことが読み取れるか、「掌をしゃくい上げた」「踏ん張って」に着目しながら答えよ。

［答］　雀の仔をＡには絶対渡さないという大変強い姿勢（態度・意思）。

＊差し替え

問６　傍線部④とあるが、なぜＡの眼にそう映ってきたのか。最も適当なものを次から選べ。

ア　Ａは、Ｂに傷つけられるなど今までＢに対してひどいことをされたというこだわりをもっているから。

イ　Ａは、Ｂに雀の仔をめぐって傷つけられひどいことをされたというこだわりをもっているから。

ウ　Ａは、Ｂを傷つけるなど今までＢに対して何か悪いことをしてしまったという後めたさをもっているから。

エ　Ａは、Ｂを雀の仔をめぐってＢに対して悪いことをしてしまったという後めたさをもっているから。

オ　Ａは、Ｂに対して今まで何もしていないにもかかわらずＢはＡを理由なく憎み続けてきているから。

［答］　ウ